



校報

水糸者

No. 1259

元年度・第118号



種市小学校創立記念講演会

『ようこそ先輩』

22日(土)に、本校恒例の学校創立記念講演会「ようこそ先輩」が、本校の平成22年度卒業生、現役東大生の野口裕一郎さん(二区出身)を講師にお迎えしご講演をいただきました。

【野口裕一郎先輩が講演「オトナになること、
コドモであること」の中で伝えた主なメッセージ】

明日の自分に向けて、
自分を変え続ける事。

どういう人になりたい
かを常に考える事。

成功することよりも、
失敗する事の方が多い。



夢の大切さは知って
いるが、そのために、
何をすればいいのかが
わからないだけ。

小学校の時は普通にゲームが好きだった。
ゲームの前に必ず宿題を終わらせた。

自分を変えるのか、
目標を変えるのか。

どこの大学に入ったのかではなく、何を学ぶかが大事。



【子ども達から出された質問】

- ・東大に入学した時の気持ちは？
- ・物理を勉強して何がしたいのか？
- ・東大に入学して良かった事は？

今年もたくさんの保護者と地域の方が来ました。



子ども達の近くまで行き、話しかけている野口さん。

まとめ。というか、宿題。

自分の頭100%で考えてください。

明日、どんな自分になっていたい？

講演の最後に、野口さんが子ども達に出した『宿題』です。『自分の頭で』という事は、「自分の頭で考え、行動選択と意思・意志決定するまで、自分の足で歩き、大いに悩み試行錯誤をしてください。」という意味でもありますね。



子どもからの謝辞と校歌に感激の面持ちの野口先輩



「まだ帰らないで」と追いかける子どもや「サインをもらいました!」と喜色満面の子どもの姿

野口裕一郎先輩には大変お忙しい中、今回の講演のためにわざわざ東京からお出でいただき、母校の子ども達のために貴重なお話をしていたいただきました。

種小っ子達は、種小初の、洋野町初の東京大学生、しかも青森県初の推薦入学での東京大学生(理学部)の偉大な先輩のお話に、目を輝かせていました。

なりたい大人の姿をイメージして自分を変え続ける努力を続けることの大切さを優しい口調で語り続けました。

今回、野口先輩は「どんな自分にもなれる」の言葉で講演を締めくくりました。大変示唆に富んだ素晴らしい講演で、子ども達はこれからの生き方や夢を持つ事、挑戦し続ける大切さもしっかりと胸に刻みました。

子どもの心に大きな明かりも灯した素晴らしい時間となりました。

母校の先輩の後輩へのメッセージを聞き、母校にますます自信と誇りを感じた素晴らしい時間ともなりました。



「勉強を教えて」と、校長室に来た子に優しく勉強を教えている講演後の野口さん。後輩思いのやさしい人柄が伝わってくるシーンです。